

始業式の話

皆さんにとって、どんな夏休みでしたか。

以前、児童朝会で「6月の平均気温が観測史上、最も高かったようです。」とお伝えしたと思います。その後、7月も観測史上最も高い平均気温で、そして8月もおそらくそのようになるのではないかと思います。

そんな暑い夏でしたが、夏休みにがんばったこと、体験したこと、やり遂げたこと、それらすべてを力に変えて、2学期は大きく羽ばたいてほしいと願います。

私はこの夏休み、6年生が参加した「タスマニア海外研修」に参加しました。そこでは、参加した皆さんの素晴らしい姿をたくさん見る事ができたので、ここでお知らせしたいと思います。

タスマニア海外研修は、6年生20人が参加しました。この研修の目的は、いくつかあります。「日本文化を伝えること」、「オーストラリアの文化を知ったり、英語を話したりすること」、そして「集団生活で互いに高め合うこと」などです。

参加した人たちは、日本文化を伝えるために、今まで学習してきたことを総動員して、準備を進めていました。インターネットで日本の観光地や食べ物を調べたり、プレゼンを作ったりしていたのです。これは、1年生から取り組んでいる情報教育「つばさ」の学習が生きていたのだと思います。そして、現地の人たちに自分が調べたことを、英語で表現しました。これは、英語や国際理解の学習「とびら」を積み重ねていたことが力になったのだと思います。そして、タスマニアの学校では、「着付け」や「茶道」の日本文化を紹介したことは、まぎれもなく、この学校で培ってきた「すずかけ」の授業が生きたのです。その姿は堂々としていて、国際交流を果たしたと言える大変立派な姿でした。

この他にも、これまでの日頃の学習が生きているなと思う場面がたくさんありました。11日間一緒に生活したのですが、協力して、助け合う素敵な姿を見せてくれました。また、公共の場で静かにしたり、約束を守ったりする姿も見られました。これは、道徳の授業で学習した「協力すること」や「公共のマナー」が生かされた場面でした。スーパーで買い物をしたときにいくらぐらいかかるかなと考えていました。これは算数の授業が生きたのだと思います。ブッシュウォークをしたときには体育の授業が、現地の小学校で一緒に歌ったことは音楽の授業が、それぞれ役に立っていたと思うのです。

そう、この海外研修に参加した20名の人たちは、今まで学校やお家で学習してきたことを生かして、見事に目標をやり遂げたと言えるのです。

今学習していることが、将来どのように役立つかはわかりにくいものです。でも、今お話ししたように、様々な学習が絡み合って、皆さんは生活しているのです。そして、中学生、高校生になったらクラブ活動で、大学受験で、そして仕事をするようになったら、仕事上の様々な問題を自分の力で解決していくのです。このためには、様々な学習が必要になるのです。

さて、今日から2学期が始まります。それぞれの学年で、様々な学校行事が控えています。また、新しい学習も待ち受けています。クラスの仲間で、学年で助け合って、高め合って活動してください。そして、引き続き一人一人の力で良いクラスを作るようがんばってください。